



あげしお

令和6年2月28日

鷹南学園

三鷹市立第五中学校

校長 鶴崎 靖二

◇学校教育目標◇

- ・進んで考える人
- ・情操豊かな人
- ・心身ともに健康な人

～「あげしお」物事の勢いが盛んになることを意味し、生徒が勢いよく活躍するという思いを込めて～

ホームページ <http://www.mitaka-schools.jp/gochu/jhs/>



学校HPリンク

「儀式とは何か」

《2月朝礼講話より》

校長 鶴崎 靖二

今日は、今年度最後の全校朝礼となります。ですから、今日は1か月後に控えた卒業式に向けて、「儀式とは何か」という話をしようと思います。

我々の身の回りには、色々な儀式がありますね。君たちもこれまでの成長過程の中で、「お宮参り」「お食い初め」「七五三」などがあったと思います。人生の節目ふしめで、子供の成長を祝うものですね。幼稚園や小学校の入学式や卒業式もありましたね。会社に入れば入社式、結婚すれば結婚式。知人や親せきが亡くなったら、葬儀に参列するでしょう。これからの人生の中で、数多くの式典に臨むことでしょう。

昨年5月、イギリスではチャールズ国王の戴冠式がありましたね。チャールズ国王が誓いを述べたあと、イギリス国教会の最高位の聖職者であるカンタベリー大主教の前で跪き、王冠を授けられました。大司教が授けるのは、国王より偉いとか、そういうことではありません。「神に認められてイギリス国王に即位するため」に大司教が神の代行をして授与をしているのです。

これらの儀式は、日本でも欧米でも、必ず神様・仏様など、はるか高い権威の名のもとに執り行われます。ですから、厳かでなければならないのです。

一つひとつの所作にも、いろいろな意味があります。

例えば結婚式。教会を例に例えると、教会の扉が開く。この扉は母親からの誕生を意味しています。

新婦は父親のエスコートで、一步一步バージンロードをゆくりと歩く。この一步一步が新婦のこれまでの成長の過程を現わしていて、それを親は娘と一緒にかみしめながら歩くのです。「照れくさいからささと歩く」なんてやってはいけません。

祭壇には牧師と新郎が立って待つ。新婦の父親は、そこで新郎に新婦の手とって新郎に渡します。それは父親としての役目を終え、娘を新郎に委ねることを現わしています。指輪の交換、宣誓など、これらはすべて神様の見守る中、行われて認められます。

じゃあ、学校は？ 公立学校ですから、神様がいらっしゃるわけではありません。でも、学校教育の根拠となっているものがあります。それが、日本国憲法です。その憲法に基づいて作られた学校教育法や学習指導要領など様々な教育法規があるから、日本の教育は成り立っているのです。

私たちは憲法や法律に基づいて、等しく教育を受ける権利をもち、7歳になると小学校に入学し、13歳で中学校に入学し、15歳で9年間の義務教育課程を修了し、卒業していく。儀式も法に基づいて行われます。日本では当たり前のように感じていることですが、世界ではこれは当たり前ではないのです。ですから、このような節目の行事の際には、日本の憲法や法令の象徴として、壇上に国旗が掲げられるのです。



チャールズ国王の戴冠式の様子
<BBCニュースより>



所作にも意味があります。舞台に向かって、右端に立つ。この時君たちは、3年間のすべての教育課程を修了した3年生の姿として立つ。堂々と胸を張って立ってほしい。担任が呼名する。これは、担任が君たちの名を呼ぶ最後の呼名です。担任は一人一人の名に万感の気持ちを込めて呼びます。君たちも、感謝の気持ちを込めてそれに応えてほしい。

そして、舞台中央で卒業証書を受け取る。この瞬間、君たちは「卒業生」と成ります。胸を張り、晴れやかな顔で「卒業生」として降りてこよう。このステージの幅、わずか10メートルの間で、このようなドラマがあるのです。

儀式というものは、厳かに行われるもの。そして人間の文化・歴史の中で培われたもの。ギュッと圧縮された様式美・形式美だということ覚えておいてほしい。

様々な国、地域にはこのような伝統文化や式典があります。それらを多様な文化や考え方を理解し、尊重して行動する姿勢を大切にしてほしい。その姿勢が、これから君たちが大人として、社会の一員として、生きていくために大切なことなのです。

2月の五中生：「逃げる」2月を逃がさないように… 日々を大切に過ごしています



中学校プレ講座 (2/9金)

鷹南学園の小学校5年生(5校時)・6年生(6校時)を対象に中学校教員による特別授業を実施しました。6教科11講座の中から、各自が興味のある授業を事前に一つ選び、意欲をもって参加してくれた様子でした。五中教員も、この日を楽しくしながら小学生のために中学校の学習のきっかけになる授業にしようと準備をし、当日はどの授業も目を輝かせた児童の姿を至るところで目にすることができました。この日の出会いが未来につながっていくことを願っています。



春季考査 (2/22金・26月)

今年度最後の定期考査となる「春季考査」が2日間で行われました。1年間の締めくくりとなる大切なテストに向けて、真剣に向き合い、努力している姿に一人ひとりの成長を感じることができました。特に3年生にとっては、中学校生活最後の定期考査となりました。前日に行われた都立高校一次検査を受検した多数の生徒にとっては、大変なことだったと思いますが、それでも一生懸命に問題に向き合い、丁寧に解答をしていました。



E組「劇と音楽の会」(2/9金)

狛江エコルマホールに多摩地区から13校の生徒が集まり、盛大に開催されました。E組が参加し、合唱「明日を信じて」、ハンドベル&チャイムでの合奏、よさこいダンス「Greeenのこの地へ」を披露し、会場中から大きな拍手をいただきました。当日まで、生徒たちはこの3つの演目を輝かせるために、一生懸命に練習に打ち込んできました。緊張ももちろんありましたが、それまで積み重ねてきた努力を「自信」に変え、ステージをE組の温かく、元気なカラー一色に染め上げていました。その姿は、まさに「輝いて」見えました。

活躍する五中生!

陸上競技部

第62回東京都中学校ロードレース大会

男子1年東部 2km競争

1組 第4位 杉本 寛樹 7分25秒

13組 第5位 兼重 太一 7分17秒

女子1年東部 1km競争

8組 第1位 大平 心海 3分34秒

「明日のTOKYO」作文コンクール

入選 内河 遼済(2年)

佳作 松本 与生(2年)

👉👉👉 掲示板

中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J Year1/Year2)を実施しました

2月27日(火)に、1年生、2年生を対象に本校英語室を会場に実施しました。British Council から運営・監督などに10名の派遣があり、その指示のもとタブレット端末に解答音声を録音する方式で行われました。「話すこと」に関する学習の定着度を確認する機会となります。結果は4月以降に通知されます。

東京都交響楽団による音楽鑑賞教室を実施します

東京都教育委員会は、学校における体験活動の充実を図ることを目的として「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」を企画しています。その一環として、本校は「芸術・文化に対する理解を深める体験」を実施することができます。

3月5日(火)に本校体育館にて、「金管五重奏」を鑑賞する機会があります
3・4校時：3年生対象 5・6校時：1・2年生 E組対象

👉 3月の行事予定は、先日配布された行事予定表でご確認ください